

厚生労働科学研究費補助金【エイズ対策政策研究事業】
HIV 検査体制の改善と効果的な受検推奨のための研究
(分担)研究報告書

インターネットサイトによる効果的な HIV 検査情報の発信と
その有効活用に関する研究

研究分担者 佐野 貴子 (神奈川県衛生研究所)
研究協力者 近藤真規子 (神奈川県衛生研究所)
土屋 菜歩 (東北大学 東北メディカル・メガバンク機構)
須藤 弘二 (株式会社ハナ・メディテック)
星野 慎二 (特定非営利活動法人 SHIP)
井戸田一朗 (しらかば診療所)
清水 茂徳 (東日本国際大学)
生島 嗣 (特定非営利活動法人 ふれいす東京)
岩橋 恒太 (特定非営利活動法人 akta)
堅多 敦子 (東京都立駒込病院)
杉浦 太一 (株式会社 cinra)
今井 光信 (田園調布学園大学)
加藤 眞吾 (株式会社ハナ・メディテック)
市川 誠一 (人間環境大学)
白阪 琢磨 (独立行政法人国立病院機構大阪医療センター)
今村 顕史 (東京都立駒込病院)

研究要旨

インターネットを通して保健所等 HIV 検査相談施設の検査情報や HIV/エイズの基礎知識などを継続的に提供し、HIV/エイズの知識普及や理解促進、HIV 検査希望者への受検サポートを推進することを目的としたウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」(<https://www.hivkensa.com>) の管理運営を行った。本サイトの情報提供の効果を調査するため、アクセスアナライザーによる利用状況の解析および保健所等 HIV 検査担当者へのアンケート調査を行った。本年度の新規事項としては、サイトの全面リニューアルとしてコンテンツ管理システム (CMS) および新規デザインの作成、研究班で作成した梅毒啓発ページ等を掲載した。

年間サイトアクセス数は、2020 年は 147 万件であり、過去最高となった前年と比較して 34% 減となった。その要因としては、2020 年 1 月以降の新型コロナウイルス感染症の流行拡大により、報道が新型コロナウイルス感染症関連のニュースで占められたことから、国民の HIV/エイズへの関心が薄れたことが考えられた。また、2020 年 4 月の緊急事態宣言により保健所等 HIV 検査の中止が相次ぎ、特に東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県 の 1 都 3 県および東海ブロックにおいて、5 月下旬の時点で自治体の約 9 割、HIV 検査施設の約 6 割で検査中止または縮小の措置を取っていたことが分かった。

当サイトへのアクセスは検索エンジンからが 87% を占めており、2020 年に検索エンジンで当サイトにアクセスする際に多く使用された検索用語は「エイズ」、「HIV」、「エイズとは」、「HIV 検査」、「性病症状」の順で、これらの用語での検索エンジンでの平均掲載順位は 1.5~3.2 と上位であった。サイトコンテンツのページビュー数は「HIV って何?」、「これって、性感染症?」、「トップページ」の順で多く、

性感染症情報ページの閲覧も多いことが分かった。

保健所等への HIV 検査相談に関するアンケート調査では、当サイトを閲覧したことがある担当者は保健所で 87%、特設検査施設で 100%、新型コロナウイルス感染症による HIV 検査日程の変更・中止について当サイトに修正依頼をした担当者は保健所で 19%、特設検査施設で 73%、当サイトが HIV 検査相談事業に役立っていると回答した担当者は保健所で 65%、特設検査施設で 100%であった。保健所担当者は当サイトを閲覧したことはあるが、新型コロナウイルス感染症対応により HIV 検査中止等の連絡は難しかったと思われた。このような事態の際には、運営側が自主的に自治体 HIV 関連サイト等で HIV 検査情報を収集し、修正作業を行う必要が示唆された。

2001 年に HIV 検査研究班の公式サイトとして開設以来、2020 年末までに合計 2,446 万件のアクセスがあった。当サイトは保健所等 HIV 検査相談施設の情報を多く紹介しており、自治体の HIV/エイズ情報サイト、日本赤十字社の献血者への配布文書、啓発用パンフレットなど多方面で紹介され、行政的にも有効活用されている。今後も正確で信頼される HIV 検査情報を提供していくとともに、HIV/エイズの理解促進と、検査希望者の受検アクセス向上に寄与したい。

A.研究目的

インターネットを通して保健所等 HIV 検査相談施設の検査情報や HIV/エイズの基礎知識などを継続的に提供し、検査希望者への情報提供と受検サポート、HIV/エイズの理解促進を目的としたウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」(<https://www.hivkensa.com>) の管理運営を行った。本サイトの情報提供効果を調査するため、アクセス解析や保健所等職員へのアンケート調査を行い、当サイトが有効利用されているかを評価した。また、今年度は新型コロナウイルス感染症流行に伴い、保健所等 HIV 検査の中止が相次いだことから、その実施状況に関する調査を行った。

B.研究方法

1. 新規情報掲載、情報修正作業

保健所等 HIV 検査相談施設で実施されている常設検査の情報や不定期に実施される検査イベントの情報、また、HIV/エイズに関する基礎知識等について、ウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」(PC サイト、スマートフォンサイト、携帯電話サイト) に掲載し、情報提供を行った。

PC サイトは 2001 年 9 月、携帯電話サイトは 2003 年 4 月に開設し、2009 年 10 月に PC サイトおよび携帯電話サイトのリニューアルを行った。2013 年にはスマートフォンサイトを開設し、2019 年には PC サイトとスマートフォンサイトについてトップページ操作性向上のためのレイアウト調整を行った。本年度はサイトの全面リニューアルとして、コンテンツ管理システム (CMS) および新規デザインの作成を行い、レスポンス対応のリニューアルサイトを作成した。また、研究班で作成した梅毒啓発ページ等の掲載を行った。

定期更新作業としては、2021 年 3 月に新年度の検査日程等の情報確認のため、自治体 154 箇所および医療機関 45 箇所に情報確認依頼文書を送付し、3 月中旬から修正作業を行った。また通年の作業として、検査施設の新規掲載、掲載情報修正および検査イベント情報の掲載等を行った。

2. 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う自治体 HIV 検査の実施状況調査

2020 年 1 月に新型コロナウイルスの国内初感染

事例の報告があり、感染拡大により2020年4月に緊急事態宣言が発令された。保健所業務の増加に伴い保健所・特設検査施設のHIV検査の中止が相次いだことから、当サイトの掲載情報を修正する必要が生じた。サイト上に自治体HIV検査を受検する際の注意事項をポップアップで表示させるとともに、インターネット上で全国自治体サイトのHIV検査情報を閲覧調査し、随時情報修正を行った。また、検査中止または縮小の措置を行った自治体やHIV検査施設について調査した。

3. サイト利用状況の調査 - Web解析 -

本サイトのアクセス解析には「Google Analytics」および「検索順位ツールGRC」を用いて、①サイトアクセス数（年別、月別、日別）、②情報端末別アクセス数、③新規・リピーター割合、④チャンネル別アクセス割合、⑤検索エンジン（Google）での検索クエリ別順位、⑥参照元からのアクセス数、⑦サイトコンテンツのページビュー数、⑧アクセス地域およびアクセス言語、⑨外国語ページのページビュー数を調査し、利用者の動向およびHIV/エイズ関連報道によるアクセス数の影響等を解析した。

4. サイト活用状況の解析 - アンケート調査 -

HIV検査・相談体制に関する調査（研究分担者土屋菜歩先生）において、保健所および特設検査施設のHIV検査担当者に対し、当サイトの利用状況やHIV検査相談事業への活用等に関するアンケート調査を実施した。

C. 研究結果

1. 新規情報掲載、情報修正作業の状況

2020年は保健所等HIV検査相談施設652箇所の検査情報の掲載を行い、検査イベント情報依頼

46件、情報修正依頼344件の更新作業を行った（図1）。本年度の新規事項としては、サイトの全面リニューアルとして、コンテンツ管理システム（CMS）および新規デザインの作成を行い、リニューアルサイトを2021年3月に公開した（図2）。性感染症啓発として、研究班で作成された梅毒啓発動画を発信するYouTubeチャンネルを作成し、サイト内にも掲載した。また、サイト内の梅毒情報ページ「もしかして梅毒!？」ページに代わり、新たに研究班で作成された「梅毒って、なに？」ページを2021年2月に公開した

2. 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う自治体HIV検査の実施状況調査

新型コロナウイルス感染症拡大による保健所業務の増加に伴い保健所・特設検査施設のHIV検査の中止が相次いだことから、当サイトの掲載情報を随時修正するために、インターネットで公開されている全国自治体サイトのHIV検査情報を閲覧調査した。その結果、HIV検査を中止または縮小した自治体は3月下旬時点で21%、5月下旬時点で61%、9月下旬時点で42%、12月下旬時点で36%であり、HIV検査施設では3月下旬時点で7%、5月下旬時点で33%、9月下旬時点で21%、12月下旬時点で19%であった（図3）。特に東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、1都3県および東海ブロックにおいて、5月下旬時点で自治体の約9割、HIV検査施設の約6割で検査中止または縮小の措置を取っていたことが分かった。

3. サイト利用状況の調査 - Web解析 -

PCサイト、スマートフォンサイトおよび携帯電話サイトでの2001年からの合計アクセス数は約2,446万件となった（図4）。2020年の年間サイトアクセス数は147万件であり、過去最高であった2018年の223万件よりも34%減となった。

情報端末別にみると、スマートフォンからのアクセス数が129万件となり、総アクセス数の88%を占めた(図5)。月別アクセス数は、2018年11月をピークとして2019年は右肩下がりでアクセス数が減少し、2020年1~2月は若干増加に転じてひと月あたり15万件のアクセスがあったが、2月以降は11~12万件と横ばいで推移した(図6)。日別アクセス数では、一日あたり10,000件を超えた日は2019年では計9回あったが、2020年には一度もなかった(図7)。訪問者別割合は、新規訪問者が88%、リピーターが12%であった(図8)。チャンネル別のアクセス割合では、検索エンジンからのアクセスが87.2%、直接アクセスが9.5%、他サイトからのアクセスが2.6%、SNSからのアクセスが0.7%であった(図9)。

検索エンジン(Google)における検索順位調査の指標とする検索クエリの月別順位をみたところ、「HIV」では1~3位、「エイズ」では1~2位、「AIDS」では2~7位の間で推移していた(図10)。「HIV」、「エイズ」、「AIDS」と「検査」の用語の組み合わせ、また、「HIV」、「AIDS」と「test」の用語の組み合わせではすべて1位に表示された。「梅毒」では、1~4月までは10位以内に入っていたが、5月以降は順位が低下した。しかし、「梅毒」と「検査」の用語を組み合わせると10位以内に入った。「性感染症」では、1~11月までは11~16位の間で推移していたが、12月には7位と上昇した。検索エンジン(Google)での検索に用いられたクエリ別の順位を10位まで調査したところ、今年度、検索エンジンで当サイトを閲覧する際に一番多く使用された検索用語は「エイズ」であり、以下、「HIV」、「エイズとは」、「HIV検査」、「性病症状」と続き、これらの用語での検索エンジンでの平均掲載順位は1.5~3.2と上位であった(図11)。また、10位以内の用語の平均掲載順位は1.0~8.6であった。「梅毒」の用語検索

順位は、2018年は1位、2019年は3位と高かったが、今年度は10位であった。

参照元からのアクセス数を見たところ、Google検索からが最も多く約96万件、Yahoo! JAPAN検索からが約31万件、直接アクセスが約14万件であったが、TwitterリンクやYouTubeからのアクセスも見られた(図12)。

サイトコンテンツのページビュー数を見ると、1位がスマートフォンサイトの「HIV・エイズって何?」ページで約40万ページビュー、2位が「これって、性感染症?」ページで約25万ページビューであった(図13)。上位10位中、スマートフォンサイトのページが9ページを占めた。サイト内の梅毒情報ページ「もしかして梅毒!?'の閲覧数は、2019年はサイト全体の4位であったが、今年度は10位に下がっていた。

検査・相談施設別ページビュー数では、「東京都南新宿検査相談室」が最も多く、「chot CAST(大阪検査相談・啓発・支援センター)」、「池袋保健所」、「神戸市保健所」、「福岡市中央区保健福祉センター」と続いた(図14)。

当サイトへのアクセス地域は日本が111万人と最も多く、続いて米国3,503人、タイ国1,800人、韓国1,632人であった(図15)。アクセス言語では、日本語が110万人、英語が32,149人、中国語が4,741人であった。外国語ページ(英語、スペイン語、タイ語、タガログ語、ベトナム語、ポルトガル語、韓国語、中国語およびやさしい日本語)のページビュー数は、やさしい日本語が13,417件と最も多く、続いて英語ページが8,114件、ベトナム語1,816件、中国語1,504件であった(図16)。

4. サイト活用状況の解析 - アンケート調査 -
全国保健所および特設検査施設に対して実施したHIV検査相談に関するアンケート調査にお

いて、当サイトの利用状況や HIV 検査相談事業への貢献度に関する質問を HIV/エイズ対策担当者に質問した。「当サイトを閲覧したことがあるか」の設問に対しては、「ある」との回答は保健所 87%、特設検査施設 100% (図 17)、「新型コロナウイルス感染症により HIV 検査日程が変更・中止になった際に当サイトに修正依頼を送ったか」の設問では、「はい」の回答は保健所 19%、特設検査施設 73% (図 18)、「当サイトが事業に役立っていると思うか」の設問では、「思う」の回答は保健所 65%、特設検査施設 100%であった(図 19)。

D.考察

今年度のサイトアクセス数は 147 万件であり、過去最高であった 2019 年の 223 万件よりも 34% の減少となった。その要因としては、2020 年 1 月以降の新型コロナウイルス感染症の流行拡大により、報道が新型コロナウイルス関連のニュースで占められ、国民の HIV/エイズへの関心が薄れたことが考えられた。また、新型コロナウイルス感染症対応による保健所業務の増加および 4 月の緊急事態宣言により保健所等 HIV 検査の中止が相次ぎ、5 月下旬時点で HIV 検査を中止・縮小していた自治体は 61%、HIV 検査施設では 33% であり、特に東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県 の 1 都 3 県および東海ブロックにおいては、5 月下旬時点で自治体の約 9 割、HIV 検査施設の約 6 割で検査中止・縮小の措置を取っていたことが分かった。エイズ動向委員会報告の保健所等の HIV 抗体検査件数を見ると、2020 年は 2019 年と比較して、第 1 四半期で 26%減、第 2 四半期で 74%減となっており、自治体 HIV 検査の中止・縮小規模が大きく検査数に影響していたことが分かった。

情報端末別アクセス数では、スマートフォンから 129 万件と総アクセス数の 88% を占めており、スマートフォンでの表示を主としたサイト構

成が重要と思われた。今年度、サイトの全面リニューアルとして、コンテンツ管理システム (CMS) および新規デザインの作成を行い、レスポンシブ対応のリニューアルサイトを 2021 年 3 月に公開した。このリニューアルにより、スマートフォンファーストでの閲覧性向上を目指しており、その効果については来年度以降調査する予定である。

チャンネル別のアクセス割合では、検索エンジンからのアクセスが 87.2%、直接アクセスが 9.5%、他サイトからのアクセスが 2.6%、SNS からのアクセスが 0.7% であり、SNS からの訪問数が少ないことが分かった。新サイトでは当サイト情報を SNS で共有してもらいやすいよう、シェアボタンの配置などに配慮したことから、今後その効果についても検証したい。

検索エンジン (Google) での検索クエリ別の順位を 10 位まで調査したところ、今年度、検索エンジンで当サイトを閲覧する際に一番多く使用された検索用語は「エイズ」であり、以下、「HIV」、「エイズとは」、「HIV 検査」、「性病 症状」であり、これら用語での検索エンジンでの平均掲載順位は 1.5~3.2 と上位であった。サイトコンテンツのページビュー数は「HIV・エイズって何?」、「これって、性感染症?」、「トップページ」の順となり、性感染症情報への閲覧も多いことが分かった。「梅毒」の用語検索順位は、2018 年は 1 位、2019 年は 3 位と高かったが、今年度は 10 位であり、サイト内の梅毒情報ページ「もしかして梅毒!？」の閲覧数も 2019 年はサイト全体の 4 位であったが、今年度は 10 位となった。今年度は「もしかして梅毒!？」ページに代わり、新たに「梅毒って、なに?」ページを 2021 年 2 月に公開したことから、その利用状況を調査したい。

参照元からのアクセス数は検索サイトからがほとんどを占めたが、Twitter のリンクや YouTube からのアクセスも見られた。昨年度まで

は東京都サイトから 7,900 件のアクセスがあったが、今年度は 333 件に減少していたことから、その動向に注視したい。

外国語ページは、昨年度はやさしい日本語が 21,063 件、英語ページ 12,817 件、ベトナム語 2,389 件、中国語 2,367 件であったが、今年度はそれぞれ 13,417 件、8,114 件、1,816 件、1,504 件に減少していた。また、当サイトへのアクセス地域も昨年度は米国 7,557 人、タイ国 6,271 人、フィリピン 2,315 人であったが、今年度は 3,503 人、1,800 人、597 人と減少しており、新型コロナウイルスによる渡航中止等の影響と思われた。

保健所等への HIV 検査相談に関するアンケート調査では、当サイトを閲覧したことがある担当者は保健所で 87%、特設検査施設で 100%、新型コロナウイルス感染症による HIV 検査日程の変更・中止について当サイトに修正依頼をした担当者は保健所で 19%、特設検査施設で 73%、当サイトが HIV 検査相談事業に役立っていると回答した担当者は保健所で 65%、特設検査施設で 100% であった。保健所担当者は当サイトを閲覧したことはあるが、新型コロナウイルス感染症業務の増加により HIV 検査中止等の連絡までは手が回らなかったと思われた。このため、運営側が自主的に自治体 HIV 関連サイト等で HIV 検査情報を収集し、修正作業を行う必要性が示唆された。

当サイトは HIV 検査研究班の公式サイトとして 2001 年に開設し、2020 年末までに約 2,446 万件のアクセスがあった。全国の保健所等 HIV 検査相談施設の情報を提供するとともに、検索エンジンの HIV/エイズ関連用語検索で上位に検索結果が表示されることで、HIV/エイズ情報提供ページとしても機能している。また、当サイトは自治体の HIV/エイズ情報媒体、日本赤十字社の献血者への配布文書、啓発用パンフレット等、多方面で紹介され、行政的にも有効活用されている。今

後も正確で最新の HIV 検査情報を提供していくとともに、更なる HIV/エイズの理解促進と、受検アクセスの向上に寄与していきたい。

E. 結論

ウェブサイト「HIV 検査・相談マップ」(<https://www.hivkensa.com>) を運営し、保健所等 HIV 検査相談施設の最新情報や HIV 検査に関する基礎知識等の情報を継続的に提供した。また、アクセス解析から、利用状況や閲覧ページの動向等を調査した。今年度は新型コロナウイルス感染症の流行による保健所等 HIV 検査中止等の実施状況調査を行った。

今年度のサイト訪問数は、約 147 万件であり、過去最高となった前年と比較して 34% 減となった。2020 年 1 月以降の新型コロナウイルス感染症の流行拡大により、新型コロナウイルス関連のニュースが多く、国民の HIV/エイズへの関心が薄れたことが考えられた。また、4 月の緊急事態宣言により保健所等 HIV 検査の中止が相次ぎ、特に首都圏 1 都 3 県および東海ブロックにおいて、5 月下旬の時点で自治体の約 9 割、HIV 検査施設の約 6 割で検査中止または縮小の措置を取っていたことが分かった。

保健所等アンケート調査結果から、保健所 HIV 担当者は当サイトを見たことはあるが、新型コロナウイルス感染症対応により HIV 検査中止等の連絡までは手が回らなかったことが分かった。このため、運営側が自主的に情報を収集し、修正作業を行う必要性が示唆された。

(サイト URL・掲載情報転載依頼)

1. 株式会社集英社「どんなわたしも愛してる」書籍にサイト URL 掲載
2. (株)日総研出版「新生児・小児領域の感染対策」講義スライド資料に「HIV 検査まめ知識

- ／HIV検査のウインドウ期とは？」の図掲載
3. 株式会社メディアアート作成サイト「女性の感染症（仮）」に「これって性感染症？／症状からどんな性感染症（性病）が考えられる？」転載

木幸子、生島嗣、今井光信、今村顕史. 保健所・検査所における梅毒検査実施状況および陽性率に関するアンケート調査. 第34回日本エイズ学会学術集会・総会、2020年11月27日-2月25日、Web開催.

F.健康危険情報

なし

H.知的所有権の出願・登録状況（予定を含む）

なし

G.研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

- 1) 佐野貴子、近藤真規子、櫻木淳一、中澤よう子、今井光信. 神奈川県域の保健所等における HIV 検査数の推移と陽性例の解析. 第34回日本エイズ学会学術集会・総会、2020年11月27日-12月25日、Web開催.
- 2) 須藤弘二、佐野貴子、近藤真規子、今井光信、今村顕史、加藤眞吾. HIV 郵送検査に関する実態調査 (2019). 第34回日本エイズ学会学術集会・総会、2020年11月27日-12月25日、Web開催.
- 3) 土屋菜歩、佐野貴子、カエベタ亜矢、関なおみ、城所敏英、根岸潤、堅多敦子、川畑拓也、貞升健志、須藤弘二、加藤眞吾、大木幸子、生島嗣、今井光信、今村顕史. 保健所・検査所における HIV 検査・相談体制と実施状況および課題に関するアンケート調査. 第34回日本エイズ学会学術集会・総会、2020年11月27日-2月25日、Web開催.
- 4) 土屋菜歩、佐野貴子、カエベタ亜矢、関なおみ、城所敏英、根岸潤、堅多敦子、川畑拓也、貞升健志、須藤弘二、加藤眞吾、大

図1

サイト掲載の施設情報、検査イベント情報、 情報修正依頼件数

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
掲載・修正依頼	664	657	650	647	652
施設情報	185	168	149	145	46
検査イベント情報	364	363	403	420	344

図2 CMSおよびデザインリニューアル(2021年3月)

[PC]



[SP]



CMS : Movable Type からWordPress へ変更

図3

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う 自治体HIV検査の中止・縮小割合(2020年)

【中止または縮小した自治体の割合】中止または縮小したHIV検査施設の割合

ブロック	掲載自治体数	3月 下旬	5月 下旬	9月 下旬	12月 下旬	掲載施設数	3月 下旬	5月 下旬	9月 下旬	12月 下旬
北海道	5	0%	60%	40%	60%	40	0%	33%	30%	30%
東北	15	0%	27%	20%	20%	61	0%	12%	10%	13%
関東甲信越 (うち1都3県)	55 (42)	31% (33%)	76% (91%)	49% (52%)	46% (52%)	179 (113)	11% (13%)	44% (63%)	26% (33%)	22% (32%)
北陸	6	0%	33%	33%	17%	22	0%	9%	9%	5%
東海	12	42%	92%	67%	67%	58	10%	55%	38%	38%
近畿	24	17%	67%	33%	17%	82	7%	40%	13%	5%
中国/四国	19	5%	42%	32%	21%	79	1%	20%	13%	14%
九州	18	33%	61%	50%	39%	87	12%	29%	20%	21%
総計	154	21%	61%	42%	36%	606	7%	33%	21%	19%

(自治体HIV検査サイトの掲載情報閲覧により集計)

図4

サイトアクセス数 (2001年-2020年)

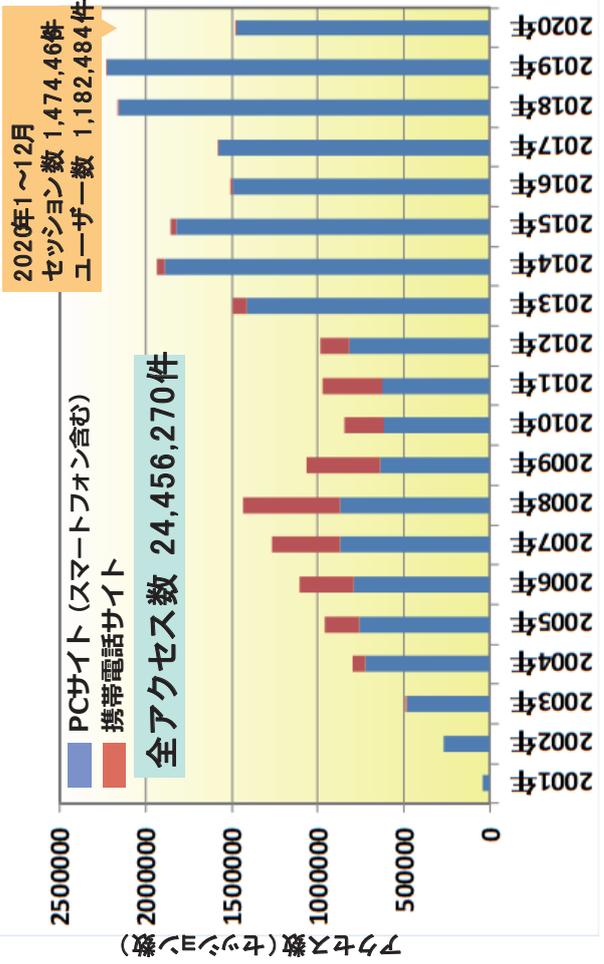


図5

情報端末別アクセス数の推移(2010年-2020年)

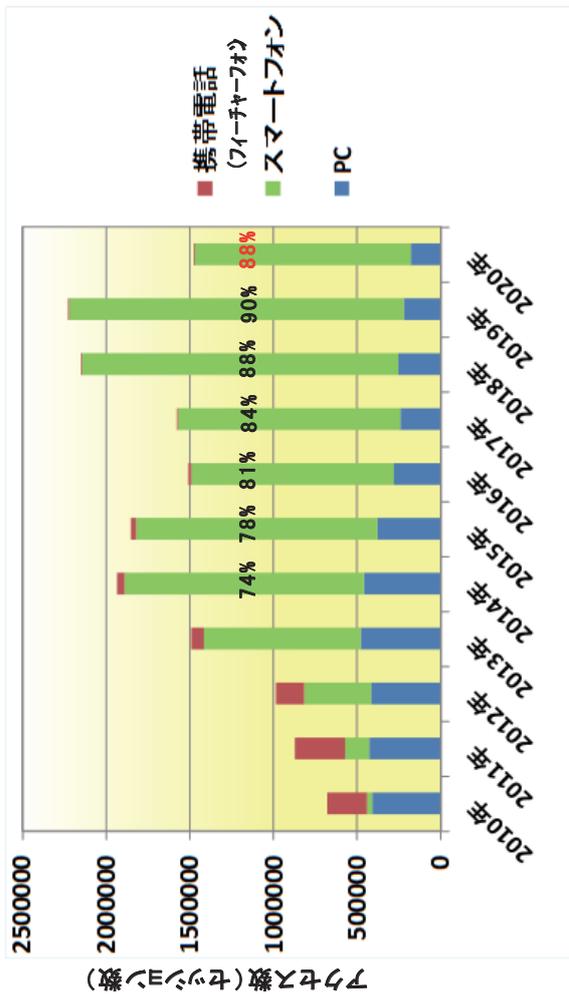


図6

月別アクセス数の推移(2015年~2020年)

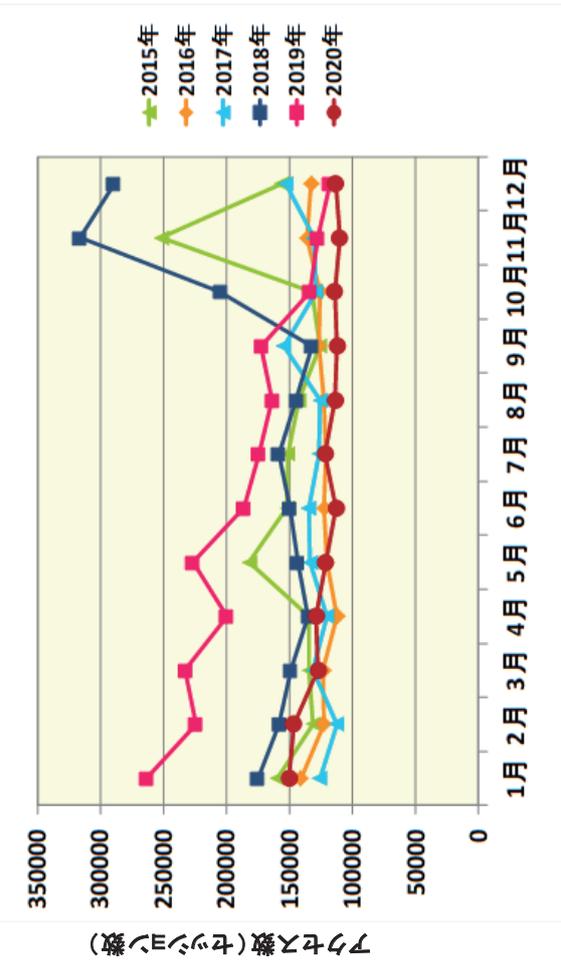


図7

日別アクセス数(2019年、2020年)

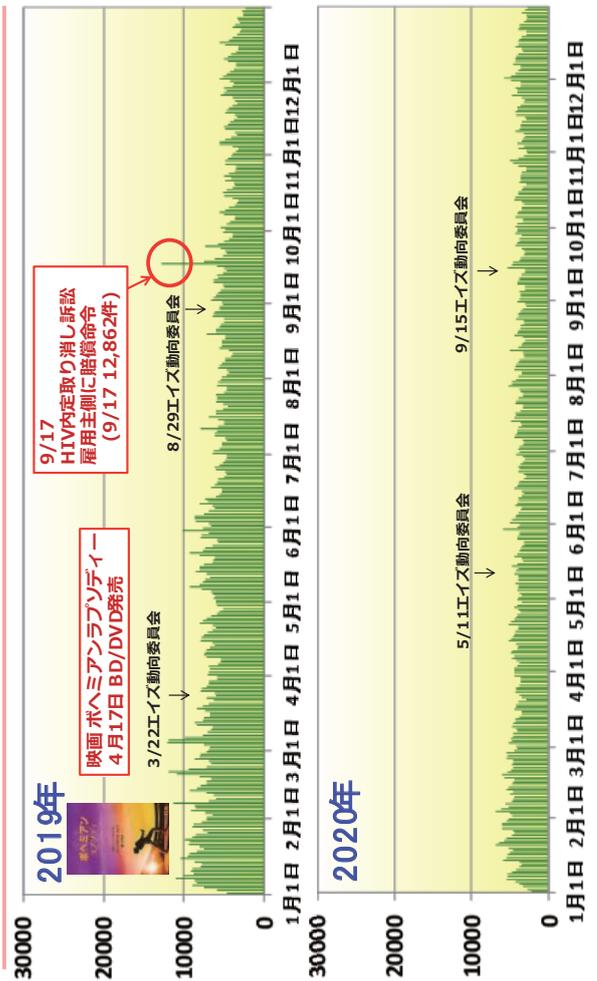


図8

訪問者別(新規・リピーター)割合(2015年~2020年)

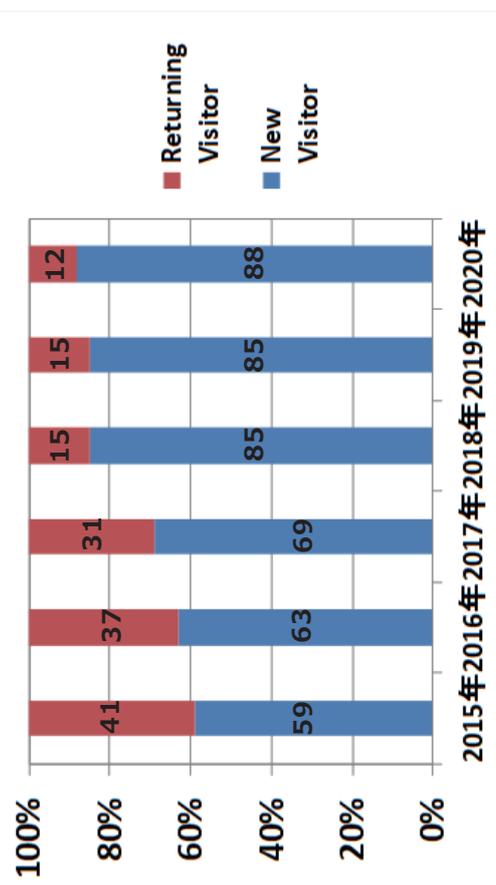


図13

サイトコンテンツのページビュー数2020年)

ページビュー全体 3,042,498件

サイトコンテンツ	ページビュー数
1 mb HIV-エイズって何？	397,445
2 mb これって、性感染症？	248,962
3 mb トップページ	208,419
4 mb HIV検査まめ知識	84,331
5 mb HIV検査Q&A	77,265
6 mb 検査・相談所検索	43,978
7 PC トップページ	41,387
8 mb 東京都南新宿検査・相談室	31,701
9 mb 大阪府検索結果ページ	29,660
10 mb もしかして梅毒！？	26,771

図14

検査・相談施設別ページビュー数(2020年)

	検査・相談施設	アクセス数
1	東京都南新宿検査相談室	31,701
2	shotCASU大阪検査相談・啓発・支援センター)火・木・土・日曜日検査	25,751
3	池袋保健所	11,775
4	神戸市保健所(検査会場:三宮センタープラザ西館階)	11,322
5	福岡市中央区保健福祉センター	8,866
6	大阪市中央区保健福祉センター	8,681
7	新宿区保健所健診会場	8,662
8	東京都多摩地域検査・相談室	8,658
9	福岡市博多区保健福祉センター	8,345
10	山口県山口健康福祉センター	7,855

図15

アクセス地域およびアクセス言語(2020年)

アクセス国	ユーザー数	アクセス言語	ユーザー数
Japan	1,114,421	日本語	590,399
United States	3,503	日本語(日本)	511,367
Thailand	1,800	英語(米国)	20,368
South Korea	1,632	英語	7,221
China	1,050	中国語(簡体)	4,741
Vietnam	809	英語(英国)	3,546
Taiwan	792	英語(オーストラリア)	1,014
Australia	689	ベトナム語	996
Canada	604	韓国語	976
Philippines	597	韓国語(韓国)	947

図16

外国語ページのページビュー数(2020年)

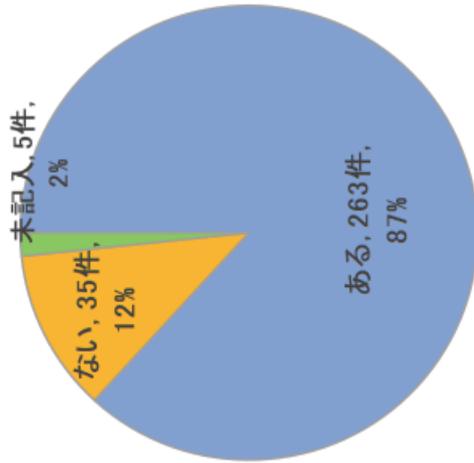
言語	mb	PC	全体
英語	6,578	1,536	8,114
スペイン語	246	69	315
タイ語	763	56	819
タガログ語	99	49	148
ベトナム語	1,701	115	1,816
ポルトガル語	408	98	506
韓国語	103	40	143
中国語	1,267	237	1,504
やさしい日本語	12,007	1,410	13,417

図17

(2020年)

ウェブサイト「HIV検査・相談マップ」を
ご覧になったことはありますか？

(保健所303件中)



(特設検査施設15件中)

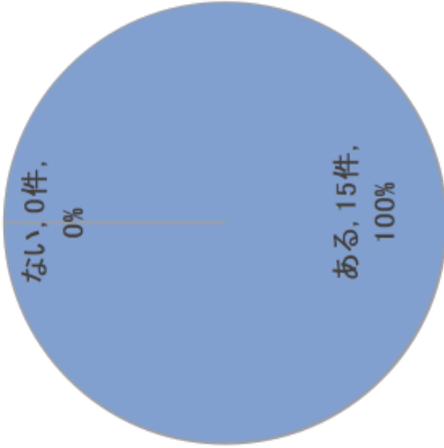
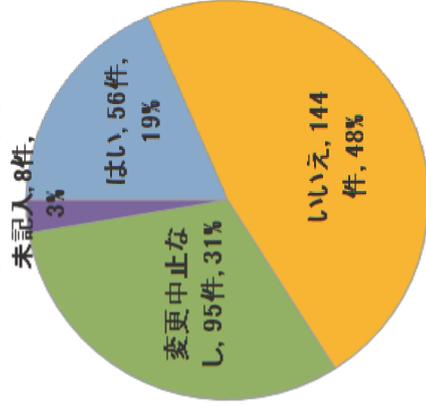


図18

(2020年)

COVID-19によりHIV検査日程が変更・中止に
なった際に当サイトに修正依頼を送りましたか？

(保健所303件中)



(特設検査施設15件中)

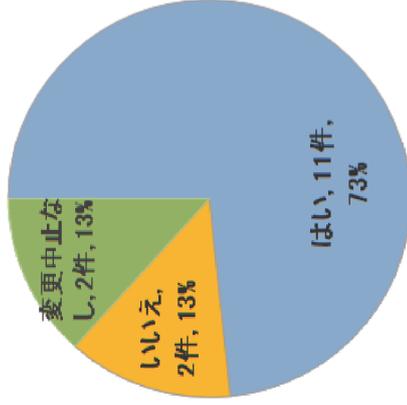
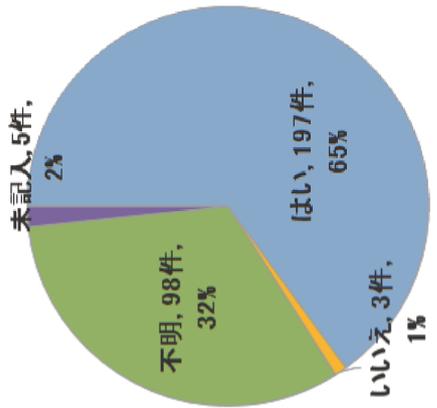


図19

(2020年)

「HIV検査・相談マップ」は検査相談事業に
役立っていると思いますか？

(保健所303件中)



(特設検査施設15件中)

